

Through the Art

上野の森アートフェスティバル

自然の中で、自由に

11月7、8日の2日間、「上野の森アートフェスティバル」が開かれた。大分市美術館から上野ヶ丘公園にかけた地域で行われるイベント。作品展示会やワークショップ、コンサートなど、さまざまな形でアートとふれあう機会だ。

私は仲間と協力して、クレヨンなどを使ったワークショップを開いた。たくさんの子もたちが来てくれた。最初は何を描こうか迷っていたのに、いったん描き始めると、どんどん夢中になって一生懸命になってゆく姿が印象的だった。

子どもたちが描く絵は、自由でエネルギーに溢れていて、圧倒される。逆に見ている方が元気をもらった。自然豊かな土地に美術館が誕生したことから始まったフェスティバル。多くの人に支えられ、次世代へ受け継がれてほしい。

written by 荒木 夏穂(1年)

例年にも増して親子連れの参加者が多く、
会場中に元気な声が響きわたりました。



混浴温泉世界～別府現代芸術フェスティバル2009～

「混浴温泉世界」

新たなBEPPUを体験

4月11日から6月14日まで「別府現代芸術フェスティバル～混浴温泉世界～」が開かれた。地元在住の私はボランティアスタッフとして参加した。

参加してみると、今まで当たり前と思っていたことが珍しく感じられた。「湯煙や街並みが不思議で幻想的だ。何か吸い寄せられる」。県外客の話に、新しい角度から「BEPPU」を再発見した。

現代アートを通して、人と人の間に何か熱くなるものがある。そこから作品が生まれていく。とても素晴らしいことだと実感した。

written by 大野 詩織(1年)

Person of topic

2人の先生がプランナー 吉良学科長と 高橋講師



情報コミュニケーション学科の吉良伸一学科長(社会学)[=写真左]と高橋雅也講師[=写真右]。「サービスマーケティング」教育を推進するプランナーであり、学生たちの活動を支える縁の下での力持ちである。

サービスマーケティングの最大の目的は「学生に自信を持たせることだ」と言う。大学での学習と地域活動を結びつけ、学んだことを地域で生かし、地域活動をもとに「学問」の意味を考える。

情報コミュニケーション学科の4領域であるメディア(M)情報(I)心理学(P)社会学(S)を地域に生かし、地域に学び、情報を発信する。

「今まで出来なかったことや、今までの自分とは違うものを経験してほしい」。先生たちの意欲も熱い。

written by 齊藤 栞(1年)
picture by 古庄 春菜(1年)

10回も参加した！ 荒木夏穂さん(1年) 行動の幅が広がる



「サービスマーケティングを通して、私は変わることができた」

半年で、10回もサービスマーケティングに参加した。最初の参加は「あしなが学生募金」。最も印象深いのは「湯布院映画祭」だ。5日間、現地に宿泊しながら多くの人と触れ合えた。

「上野の森アートフェスティバル」では、責任ある立場からイベントを支える人の存在を知った。「サービスマーケティングとは、ジャンプ直前のステップだ」。自分の世界や行動の幅が一気に広がったと実感している。

written by 中村 早希(1年)

1月29日(金) 報告会 in 大分市コンパルホール

1月29日、芸短生によるサービスマーケティング報告会が午後1時から大分市コンパルホールで開催されます。SAEMON23や日韓次世代交流映画祭、あしなが学生募金、キャンドルナイトなど、さまざまな地域活動に参加してきた学生たちが、自らが体験し、学んだことを発表します。学生のナマの声を聞いてみませんか？入場は無料。ぜひお越し下さい。

written by 関 麻利絵(1年)

